

延岡市立旭小学校の学力向上への取組

1 学校の概要

本校は、昭和23年4月、岡富小学校より分離独立し開校した児童数486名・職員数30名の規模校である（H17. 5. 1現在）。JR延岡駅の北西部に位置し、周囲を商店街や住宅地、旭化成の新工場、TR高千穂鉄道に囲まれている。また、学校の北側を祝子川、南西部に今山が位置する等自然環境にも恵まれている。

昨年度から「県・市指定研究学校」として国際理解教育（英語活動）の研究を進めており、本年度は秋に研究公開を計画している（H17. 11. 11）。また、父親学級や家庭教育学級の他、読み聞かせ会「夢育母」がPTA組織の一部として活動しており、保護者の教育に対する関心が高い。さらに、学校と隣接して児童館があり、放課後児童クラブや毎月第3土曜日の学社連携事業「ホリデーあさひ」など地域の教育熱も高い。

小中連携事業としては、「レベルアップ延岡学力向上協議会」を受けて「旭小中学力向上プロジェクト会議」を昨年度より組織し、研究推進委員会を中心として全職員で児童・生徒の学力向上を図っている。

2 児童生徒の実態

明るく元気で、朝の始業前から運動場で元気に外遊びを行ったり、昼休みも比較的多くの児童が運動場で遊んでいる。また、野球やバレー・バスケットなどのスポーツ少年団活動が盛んであり、放課後も子どもたちの生き生きとした声が響き渡っているが、一方で運動をあまり実践しない児童の割合も高く、運動の二極化が課題となっている。

学力では、英語活動や体験活動に対する興味・関心は非常に高く、他教科でも意欲的に授業に取り組む児童が多い。県の学力調査の結果によれば、社会、算数、理科の各教科で県の平均を上回ったが、国語のみが県平均をやや下回っており、言語事項の領域を中心とした課題が浮き彫りになった。

あいさつや家庭学習への取組、ボランティア精神の高揚などの個人差をどう埋めていくかも今後の課題である。

3 学力向上に向けた経営方針（「全体構想図」参照）

- 校内研修の充実
- 指導力の向上、少人数指導の推進
- 学習習慣の徹底、学習環境の整備
- 校時程の工夫
- 学力テストの実施と分析
- 家庭学習の充実、夏季休業中の個人面談の実施
- 旭小中の連携
- 英語活動を中心とした国際理解教育の推進



【ハロータイム（国際交流活動）】

【学力向上に向けた全体構想図】

「児童一人一人の健全な成長，学力向上を願い努力する教師」
あいじょうを持って さいごまで見届け ひっしで育てる

学力向上のための取組

①校内研修の充実

国際理解教育（英語活動）の充実を通じた学力の向上
道徳，人権・同和教育，生徒指導の研修の充実による豊かな心の育成

②指導力の向上，少人数指導の推進

- ・指導方法の工夫改善
…問題解決的な指導過程の重視
- ・基礎・基本の徹底
- ・習熟度別指導の推進
- ・補充・発展的な学習の充実
- ・地域素材，教材教具，教育機器の活用
- ・生徒指導の三機能（存在感，自己決定，共感的人間関係）を生かす

③学習習慣の徹底，学習環境の整備

- ・授業における基本的な学習習慣
…①机上の整理整頓 ②話の聞き方（聞き方あいいうえお）
③発表の仕方（話し方あいいうえお） ④基本話型 ⑤日常会話
- ・学習環境としての教室掲示等の充実
- ・学習（算数），英語コーナーの整備
- ・学習環境としての図書館の活用

④校時程の工夫

- ・スキルタイム（月，火，水）の設定と指導の充実
…校長，教頭，教務，専科教員等の参加
- ・ハートフルタイム（読書の時間）の充実
- ・個別指導の時間（週1時間）の設定
- ・Eータイムの充実

⑤学力テストの実施と分析

- ・学力テスト（算数）の実施
- ・学力テストの分析，報告
- ・補充指導の充実
- ・学力調査の実施と分析

⑥家庭学習の充実，夏季休業中の個人
面談，個別指導の実施

- ・「家庭学習の手引き」の活用
- ・家庭学習の充実
…内容，方法の共通理解
- ・個人面談の実施
- ・個別指導の実施

⑦旭小中の連携

- ・授業研究会の実施
- ・家庭学習の取組の共通実践
- ・T Tによる英語活動，算数・数学の指導

※P l a n→D o→S e e から P l a n→D o→C h e c k→A c t i o n

【学力向上に向けた全体構想図】

4 教育課程内の取組

(1) 校内研修（主題研究）の充実

① 研究主題 英語に親しみ、国際感覚を磨く児童の育成（県・市指定研究学校）
～英語活動の実践を中心として～

② 研究目的

国際社会をたくましく生きる児童の育成を目指し、児童が英語に親しみ、世界に目を向けていくための英語活動を中心とした国際理解教育の在り方を追求する。

③ 実践内容

ア 英語活動、国際交流活動の展開の工夫

年間計画や人材確保、身近な素材の確保などに留意しながら E-タイム（月・水・金の朝の 15 分の英語活動）や FunFun タイム（総合的な学習の時間における 45 分の英語活動）、ハロータイム（国際交流活動）の充実を図っている。

イ 日常的に英語に触れる環境の整備

総合学習室、生活科室を整備し、校内掲示を工夫し、児童が日常的に英語に触れる環境づくりに努めた。また、放送委員会児童による朝や下校放送を英語で行ったり、「ワールドタイム」と称し、全職員が交代で給食時の放送で英会話や国際交流の話をするなど校内アナウンスの充実も図っている。

(2) 少人数指導の推進

学習集団を少人数化し、学級担任と少人数指導推進教員とで習熟度や課題別の指導を行うことで、児童にきめ細かな指導が行き届き、基礎学力が向上してきた。基本的な実施計画は以下のとおりである。

学 年	学級数	年間指導時間	実施体制・方法
4 年	2	300 時間	・ 機械的に分けた少人数グループ
5 年	3	400 時間	・ 習熟度別少人数グループ
計	5	700 時間	・ 課題別少人数グループ

(3) 校時程の工夫

① スキルタイム（朝の 15 分の国語・算数の基礎的・基本的な知識や技能の育成）を設定し、毎週月・水・金に学級担任が中心となり、指導の充実を図っている。

② 個別指導の時間（月曜 6 校時：3 年生以上）を設定し、年間を通じて計画的に個別指導を推進している。

(4) 学力テストの実施と分析

全学年を対象に国語・算数の学力検査（NRT）を実施し、夏季休業中にその結果を分析して指導の充実（重点指導内容の確認等）を行った。

(5) 旭小・中学力向上プロジェクト会議の充実

① 研究主題 基礎・基本の確実な定着と豊かな心の育成を図る小・中連携の在り方
～数学（算数）・英語（英語活動）指導や心の教育の連携を通して～

② 研究目的

小・中の 9 年間を見通して指導方法の工夫改善に努め、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、豊かな心を育成するための道徳教育や生徒指導を充実し、児童生徒の学力向上を図る。

③ 実践内容

- 英語、数学、英語活動、算数の参観授業を通して、小・中お互いの指導の重点化を図るとともに、連携していく上での課題等について協議を行っている。
- 学力及び生徒指導面に関する情報交換を行っている。

(6) 読書教育・図書館教育の充実

① ハートフルタイム（朝の読書の時間）の充実

木曜日の朝の 20 分間を読書の時間に充て、読書教育の充実を図った。また、保護者を中心とした読み聞かせグループ「夢育母（むいくまむ）」が交代で各学級に本の読み聞かせを行っている。

② 児童が読みたい本を探しやすいような本の分類や掲示の工夫など、図書室の整理や環境設営を読み聞かせグループ「夢育母」と共に行った。

5 教育課程外の実践

(1) サマースクールの実施

夏季休業中（8月上旬）に各学級担任が自分の学級の個別指導が必要な児童を対象にサマースクールを実施し、既習内容の復習と主に国語と算数の基礎基本の充実を図った。

(2) 教科エキスパートサークル（指導力向上のためのサークル活動）への積極的参加

延岡市の校長会・教頭会が中心となって発足した、教師の資質を向上させるためのサークル「教科エキスパートサークル」に多数の職員が自主的に参加し、研修に努めている。

6 保護者・家庭、地域との連携

(1) 家庭教育の充実

延岡市教育研修所発行の「家庭学習の手引き」の家庭への啓発を図った。

(2) 読み聞かせグループ「夢育母」との連携

ハートフルタイムを始め、毎学期 1 回は、昼休みに手製の紙芝居や読み聞かせを行い、児童の読書意欲の向上を図っている。

(3) 個人面談

夏季休業中に各学級で学習や生活に関する悩み相談や情報交換を行い（希望者のみ）、家庭との連携を深めた。

7 成果と課題（次年度の実践を含む）

(1) 成果

- 英語活動を中心とした国際理解教育の推進により、英語に親しみ、世界に目を向けていく児童が増えてきた。
- 学力向上に関する様々な校時程の工夫や、指導方法の工夫改善、家庭との連携を通して、個別指導の充実が図られた。
- 主題研究や小・中連携事業、サークル活動等を通じて、教師自身の資質が高まってきた。

(2) 課題

- 学力テストのより効果的な活用を図る。
- 学習部が中心となって、スキルタイムの内容を計画的に提案していく。